様式第３号

事務事業評価表（平成２９年度）

事業コード	987	課コード	1101	会計種別	一般会計	予算の種類	■政策　■経常　□なし

１．事業の概要(PLAN)

(1)事業概要	①事業名	基本事業		実施計画への位置づけ	○有　●無
		個別事業	議会情報の提供		
	②部課名	議会事務局・議会事務局			
	③事業主体	●市　○その他（　）		④対象地区	□我孫子　□天王台　□湖北　□新木　□布佐　■全市
	⑤事業期間	～		⑥担当職員数	2 人　（換算人数　0.75 人）
	⑦事業費（人件費含む）	総事業費	0 千円	当該(開始)年度	（当　初）10,706 千円　（うち人件費　6,600 千円） （変更後）千円　（うち人件費　千円）
	⑧施策の位置づけ	施策コード	00000	重点プロジェクトへの位置づけ	重点なし
		基本計画地区別計画への位置づけ	○有　●無	部門別計画への位置づけ	（計画名）
(2)目的	施策目的・展開方向			事業目的	議会活動をＰＲ することにより、市民が議会活動への理解を深めることができる。
(3)事業内容	内　容	１．議会ホームページデータ管理（定例会等の議会情報を随時更新する） ２．議会だよりの編集発行（定例会等の審議内容および代表質問の要旨などを編集・発行する） ３．議会ライブ録画中継（定例会等の本会議の様子をインターネットを通して生中継し、発言者ごとなどに整理した録画を中継する） ４．議会ライブ録画中継(常任委員会および特別委員会の様子をインターネットを通して生中継をするとともに、録画中継も行う） ※今年度はより多くの市民が議会ライブ録画中継を見ることができるよう、Ｗｉｎｄｏｗｓ１０やＭａｃなどのパソコン環境のほか、スマートフォンでの視聴が可能となるよう対応する。		当該年度執行計画	１．議会ホームページデータ管理：定例会等の日程、一般質問要項、審査結果などを速やかに公表する。 ２．議会だよりの編集発行（毎回約５０，１００部印刷）：５月、８月、１１日、２月の各月１日に定例会・臨時会の審議結果及び一般質問の要旨などを編集・発行する。配布は、広報あびこと一緒に新聞折込で行う。希望により宅配も行う。 ３．議会ライブ録画中継：本会議および委員会の様子を生放送する。生放送終了後、整理した映像を録画中継としてホームページにアップする。
				当該年度活動結果指標	議会だより発行回数　単位：回　想定値：4　実績値：

(4)達成目標(期待する成果)	達成目標(期待する成果)	指標種類	指　標	単位	(5)現況値	(6)目標値
当該(開始)年度	市民の議会活動への理解と関心を高める。	直接	議会活動の情報提供割合	%	0	100
３年後	市民の議会活動への理解と関心を高める。	直接	議会活動の情報提供割合	%	0	100
最終(概ね５年後)	市民の議会活動への理解と関心を高める。	直接	議会活動の情報提供割合	%	0	100

(7)事業実施上の課題と対応		代替案検討	○有　●無

(8)施行事項		平成２８年度		平成２９年度			平成３０年度		平成３１年度	
		政策 内　容	金額(千円)	政策 内　容	金額(千円)	実績値(千円)	政策 内　容	金額(千円)	政策 内　容	金額(千円)
	実施内容 費　用	１．議会だより作成印刷委託料	1,466	１．議会だより作成印刷委託料	1,126		１．議会だより作成印刷委託料	1,126	１．議会だより作成印刷委託料	1,126
		２．議会だより折込手数料	152	２．議会だより折込手数料	152		２．議会だより折込手数料	152	２．議会だより折込手数料	152
		３．研修旅費	5	３．研修旅費	5		３．研修旅費	5	３．研修旅費	5
		４．研修負担金	63	４．研修負担金	63		４．研修負担金	63	４．研修負担金	63
		５．議会中継システム使用料 （本会議分　953千円） （委員会分　431千円）	1,384	５．議会中継システム使用料 （本会議分　116千円） （委員会分　93千円）	209		５．議会中継システム使用料 （本会議分　116千円） （委員会分　93千円）	209	５．議会中継システム使用料 （本会議分　116千円） （委員会分　93千円）	209
		６．議会中継システム運用委託料	623	６．議会中継システム運用委託料	844		６．議会中継システム運用委託料	844	６．議会中継システム運用委託料	844
		７．インターネット中継用カメラ・制御システム等点検委託料	76	＊（マルチデバイス対応差額分 221千円） （通常分　623千円） ７．インターネット中継用カメラ・制御システム等点検委託料	76		７．インターネット中継用カメラ・制御システム等点検委託料	76	７．インターネット中継用カメラ・制御システム等点検委託料	76
				＊８．インターネット中継用映像データ作成委託料	918		８．インターネット中継用映像データ作成委託料	918	８．インターネット中継用映像データ作成委託料	918
				＊９．インターネット配信機器	713					
	予算(済)額	合　計	3,769	合　計	4,106		合　計	3,393	合　計	3,393
(9)財源内訳	国庫支出金	補助率　0 %	0	補助率　0 %	0		補助率　0 %	0	補助率　0 %	0
	県支出金	補助率　0 %	0	補助率　0 %	0		補助率　0 %	0	補助率　0 %	0
	起債	充当率　0 %	0	充当率　0 %	0		充当率　0 %	0	充当率　0 %	0
	一般財源		3,769		4,106			3,393		3,393
	その他の財源	□特会 □受益 □債務 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □債務 □基金 □その他	0		□特会 □受益 □債務 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □債務 □基金 □その他	0
(10)人件費等	換算人数(人)		0.75		0.75			0.75		0.75
	正職員人件費		6,600		6,600			6,600		6,600
	嘱託職員報酬額		0		0			0		0
	臨時職員賃金額		0		0			0		0
事業費(予算(済)額＋正職員人件費)			10,369		10,706			9,993		9,993
(11)単位費用（事業費／活動結果指標）			2,592.25千円／回		2,676.5千円／回					

２．事業の評価(DO+CHECK)

評価項目		事　前　評　価		事　後　評　価（評価結果に応じ、改善案検討（拡充も含む））		改善検討
必要性	(1)事業が今必要である理由・背景は？(事業の必要性)	市民が議会活動への理解を深め、議会をより身近な存在とするため。		○①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった ＜想定どおりとした理由／想定どおりでなかった原因＞		○要 ○不要
	(2)市が実施する必要性はあるか？（市実施の必要性）	●①民間企業、ＮＰＯ、市民団体等では実施できない （理由）□法令等で市が実施することが定められている □提供主体が市しかない ■その他	＜その他の内容＞ 議会中継、議会録画中継を迅速に行うため。	□①民間企業、ＮＰＯ、市民団体等では実施できなかった □②市が主導で進めなければ実効性がなかった □③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された □④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した □⑤サービス水準が確保された □⑥サービスの安定供給基盤が確保された □⑦その他	＜市実施の具体的な内容・必要性の理由＞	○要 ○不要
		○②自治体である市が推進すべきである （理由）□市が主導で進めることにより実効性が得られる □市が実施・提供することにより、良質で安定したサービスが保証される □市が支援することにより政策・施策の目標の実現が図られる □その他	＜その他の内容＞	＜その他の内容＞		
参加・協働の工夫	市民の参加や市民との協働を工夫しているか？（体制づくり）	参加・協働の内容 ○①事業計画時に市民の参画有り ○②事業実施時に市民の参画有り ○③管理・運営に市民の参画有り ○④市民の自主的な活動と連携している ○⑤市民と共同で事業を実施 ●⑥その他	工夫の具体的な内容	実施した参加・協働の具体的な内容（又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容）	参加・協働の程度・内容 ○①当初期待した以上 ○②当初期待したとおり ○③当初の期待以下 ＜期待した以上となった理由／期待以下であった原因＞	○要 ○不要
		＜その他の内容＞ 該当なし				
環境への配慮	環境に配慮して事業を進めているか？	配慮の視点 □①自然環境を生かしている □②生き物と共存している □③手賀沼を意識している □④環境負荷低減に貢献している ■⑤その他	取組む内容	実施した具体的な内容	環境への配慮 ○①想定どおり ○②想定どおりでなかった ＜想定どおりでなかった原因＞	○ 要 ○ 不要
		＜その他の内容＞ 該当なし				
効率性	(1)目標設定は適切か？	現況値(a)(%)：0 目標値(b)(%)：100	目標値の妥当性のチェック ■①客観的なデータ・事実に基づき設定している □②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない □③現況値との差が小さい値ではない □④適当な比較対象が有る場合、比較対象例における目標値(と現況値の差)と同等の水準である	達成状況 実績値(f)(%)： 達成率(%)(f/b×100)：	○①目標値達成 ○②目標値未達成 ＜目標を達成した理由／未達成となった原因＞	○要 ○不要
	(2)事業費削減の工夫をしているか？	対策実施による事業費削減 事業費(c)(千円)：10,706 事業費削減額(d)(千円)：△337 事業費削減率(%)：△3.25	実施予定の対策 □①国・県助成制度活用 ■②現有体制での対応 □③維持管理費の削減策の実施 □④民間委託 □⑤ＰＦＩ等民間資本の活用 □⑥受益者負担 □⑦その他 ＜削減の内容＞	実施状況 実績値(g)(千円)： 対事業費(%)(g/c)×100：	○①想定事業費未満 ○②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過 ＜超過理由等＞	事業費の削減対策について ○①事前の想定どおり ○②事前の想定どおりでなかった ＜想定どおり削減できなかった原因＞	○要 ○不要
	(3)目標値を実現する為に投じる事業費は適正か？（目標対費用）	目標値対事業費(e)：0.93 単位：% 費用単位：10万円	計算方法 ●①単年度の指標：目標値×費用単位／事業費 ○②複数年度の指標：(目標値－現況値)×費用単位／事業費	達成状況 実績値(h)： 対目標値(%)(h/e)×100：	○①目標値以上 ○②目標値と同程度 ○③目標値以下	＜目標値以上となった理由／目標値以下であった原因＞	○要 ○不要

３．事後評価

○現状どおり推進　○拡充　○縮小　○結合　○休止　○廃止　○事業手法見直し　○その他(事業完了など)

評価	評価コメント	改善策及び展開方向